

おおがわら

議会だより



第168号

令和5年8月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



戻りつつある笑顔の給食

令和5年7月14日

(大河原小学校)

常任委員会改選	②③
資格審査特別委員会審査結果	④
町政への提言	⑤
議案審議(4月・6月)	⑭
委員会活動	⑰
全員協議会	⑱
その後どうなったあの提言	⑲
町民の声	⑲

委員会 改選

新体制でスタート

活動の更なる 充実を目指して

4月議会において、委員会メンバーの改選が行われました。任期は今後2年間です。
 なお、議長・副議長及び一部組合等選出議員の改選は今回行われていません。また、議長はどの委員会にも属しません。

文教厚生 常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 佐藤 巖 |
| 副委員長 | 大沼 常次 |
| 委員 | 佐藤 暁史 |
| 〃 | 中村 淳利 |
| 〃 | 丸山 剛昇 |
| 〃 | 山崎 剛昇 |
| 〃 | 秋山 剛昇 |



議会広報 常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 佐藤 暁史 |
| 副委員長 | 佐久間 克明 |
| 委員 | 中村 淳 |
| 〃 | 高橋 豊 |
| 〃 | 須藤 慎 |
| 〃 | 丸山 勝利 |



議会広聴 常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 高橋 芳男 |
| 副委員長 | 大沼 常次 |
| 委員 | 佐藤 貴久 |
| 〃 | 山崎 剛 |
| 〃 | 万波 孝子 |
| 〃 | 秋山 昇 |
| 〃 | 佐藤 巖 |
| 〃 | 大沼 忠弘 |



一部事務組合等選出議員

- 仙南地域広域行政事務組合議会議員
 岡崎 隆 佐久間 克明
 みやぎ県南中核病院企業団議会議員
 岡崎 隆 秋山 昇
 須藤 慎
 宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員
 万波 孝子



議長
岡崎 隆



副議長
大沼 忠弘

- ### 委員会の担当分野
- ▼議会運営委員会
議会運営、議会の規則・条例等。議長の諮問。
 - ▼総務産業常任委員会
総務課、政策企画課、スポーツまちづくり推進課、税務課、会計課、農政課、商工観光課、地域整備課、上下水道課、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会。
 - ▼文教厚生常任委員会
町民生活課、福祉課、健康推進課、子ども家庭課、教育委員会。
 - ▼議会広報常任委員会
議会だよりの企画・編集・発行。その他情報発信、議会広報活動全般。
 - ▼議会広聴常任委員会
議会報告会に関する事項。その他町民との意見交換、情報交換。

議会運営 委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 秋山 昇 |
| 副委員長 | 佐藤 巖 |
| 委員 | 佐藤 暁史 |
| 〃 | 高橋 豊 |
| 〃 | 須藤 慎 |
| 〃 | 佐藤 貴久 |



総務産業 常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 須藤 慎 |
| 副委員長 | 高橋 豊 |
| 委員 | 佐久間 克明 |
| 〃 | 高橋 芳男 |
| 〃 | 佐藤 貴久 |
| 〃 | 万波 孝子 |
| 〃 | 大沼 忠弘 |



高橋 芳男P⑥

- 自治会等のデジタル化について
- 高齢者の生活移動の足の確保について
- 重層的支援体制整備事業の推進について

中村 淳P⑦

- スポまち推進課の業務について
- 運転免許証自主返納時の支援施策について

万波 孝子P⑧

- 白石川右岸河川敷等整備事業について
- 放課後児童クラブについて
- 町営住宅について

佐藤 暁史P⑨

- 子育て支援について
- スポーツ推進について
- 自転車ヘルメット着用について

丸山 勝利P⑩

- 物価高騰に対する支援について

大沼 忠弘P⑪

- 学校の学習環境について
- 環境意識の醸成について
- 桜まつり開催について

大沼 常次P⑫

- 公的施設における清掃業務の外部委託について
- 生涯スポーツの行政課題について

須藤 慎P⑬

- 職員のメンタルヘルス(心の健康)について
- 桜まつり等について

内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
(<https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/>)

各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



一般質問

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は8人の議員が行いました。

岡崎 隆議員の議員資格 本会議採決結果 「議員資格を有する」と決定

賛成7
反対6

令和5年3月10日、高橋豊議員より岡崎隆議員に対して資格決定要求書が出された。

内容は、「岡崎隆議員が役員を務める減災みやぎ株式会社が、新型コロナウイルス感染者使用施設の消毒作業について、繰り返し業務を請け負っている。発注は計19回、請負金額は約790万円。地方自治法第92条の2*に規定する議員の兼業禁止に該当するかどうか」資格審査を要求するもの。この要求書により資格審査特別委員会が設置された。特別委員会の委員は、会派代表6名で構成することとし、中村淳、大沼常次、須藤慎、万波孝子、佐藤巖、大沼忠弘が選任され、資格決定について特別委員会に付託された。

特別委員会の経過

第1回3月16日 委員長・副委員長の選任について
傍聴の取り扱いについて
第2回4月7日 調査の方法について
第3回4月21日 高橋豊議員からの意見聴取
消毒業務委託に関する説明(町)
第4回4月28日 これまでのまとめ
岡崎隆議員からの意見聴取
第5回5月11日 資格決定の内容についての検討
第6回5月26日 委員会審査結果報告書について

特別委員会の審査結果

最高裁の判例や法の趣旨と照らし合わせ、当時の背景及び事態の緊急性等を含め総合的に判断した結果、法には抵触しないと判断。委員会採決では、「地方自治法第92条の2の規定に該当せず、議員資格を有する」と賛成多数で決定した。委員からは、法がある以上業務を受けるべきではなかったという意見もあり、法的に問題がないとしても道義的、社会的通念に照らし、町民から誤解やあらぬ疑念を抱かれることがなきよう、議会自ら襟を正すべく、議会基本条例や政治倫理条例の見直し等が求められるとの結論に至った。

本会議の採決結果

賛成

中村 大沼 常次 淳
高橋 芳男
佐藤 貴久
万波 孝子
秋山 昇
佐藤 巖

反対

佐藤 暁史
高橋 豊
佐久間 克明
須藤 慎
丸山 勝利
山崎 剛

討論

反対討論

丸山 勝利

地方自治法第92条の2の規定の趣旨として、議会運営の公正を保証するとともに、行政の事務執行の適正を確保するため、主として請負をする法人の役員に就くこと自体を禁じている。これを許せば、議員がその優越的地位を利用して役員を務める請負会社に対し利益誘導となり、入札や随意契約においても付度を招く恐れがあり自由競争の妨害になる。コロナ禍による緊急対策であるならば、当初の2、3回の随意契約による単独請負も理解できるが、19回にもわたり議長である議員が役員を務める「減災みやぎ株式会社」1社のみが随意契約により消毒作業を請け負うのは、優越的地位の乱用や付度が働いた疑義が残る。

賛成討論

大沼 常次

新型コロナウイルスに感染した施設の消毒作業を職員で行うべきだったとの主張には反対である。この消毒作業には、薬剤の選定、その取扱いや散布方法、散布の量など専門的な知識を要し、職員が実施するのは適当でなく、町内の施工業者である減災みやぎに業務委託した町の判断は適切であった。その上で、現職議員が関与した今回の事案においては、緊急、災害的な措置であり、議員の請負禁止を規定した法律の趣旨には抵触していないものとして、資格審査委員会の決定に賛成するものである。

※地方自治法第92条の2とは
普通地方公共団体の議会の議員は、当該普通地方公共団体に対し請負(中略)をする者及びその支配人または主として同一の行為をする法人の無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役若しくはこれらに準ずべき者、支配人及び清算人たることができないと規定されている。

一般質問

デジタル化

自治会等のデジタル化を

導入が有効か検証する



高橋 芳男

町長 本町は、今年度、国の補助金を活用し、移行準備事業を進めている。ヤングケアラー問題等のように、複合的で深刻なケースもあるので、関係機関との連携を図り、進める必要がある。

が抱える課題が複雑化・複合化する中で、従来の対応では課題があるために施行された包括的な支援体制である。「生理の貧困問題」や「ヤングケアラー問題」など、複雑化・複合化する問題に対応する為、重層的支援体制整備事業の推進・活用が重要だと考えるが、どうか。

高齢者生活移動の確保を

よつ、サポート体制を整えていくべきだと考えるが、どうか。

高橋

高橋 高齢者ドライバーの交通事故の増加を受け、免許の返納などが進められているが、それに伴い、デマンド型タクシー等の生活移動の確保、生活移動のほとんどを車に依存する中、デマンド型乗合タクシー等も視野に入れ、安心して免許の返納を進められる

町長 デマンド型乗合タクシーに関わる課題解決については、地域公共交通協議会に諮りながら検討していく必要性はあるものと考えている。

重層的支援体制整備事業の推進を

高橋 重層的支援体制とは、地域住民



議会でもデジタル化が進んでいる

町長 各行政区が抱える問題は多様であり、デジタル技術が全ての解決に繋がるものではなく、ひとつの手段としてとらえており、デジタル技術の取り組みはまだ行っていない。今後各行政区の意向も踏まえ、デジタル技術の導入が有効か検証する必要がある。

高橋 現在、人口減少と高齢化で、地域コミュニティ維持が難しく、地域住民同士の情報交換や、電子回覧板など、柔軟で多様な連携を作るため、自治会等のデジタル化、地域コミュニティの構築を進めるべきと考える。人口が減少し、高齢者が進む地域では、自治会等の役員として働ける方も少なくなっていく中で、地

交通手段の変換が目的

返納特典にしては

免許証 自主返納



IDとしては、運転履歴証明書が使えるのだが

う交通弱者に対して支援を行っているが、自主返納の推移を示して欲しい。

町長

支援施策の利用者は、平成30年度88人、以下90人、91人、83人、令和4年度68人となっている。

中村 昨今の高齢運転者の交通事故の対策として行われる自主返納に関して、その推移及び支援の在り方について質問する。

町長 運転免許証を自主返納した場合、移動手段を失ってしまう

中村 返納後も家族等段を有する場合、本支援策は必要とされないと思うが、受ける、受けないで、不公平感はないか。

町長

交通手段の有無にかかわらず、申請に基づき一律に交付するものであり不公平感はないと捉えている。

中村

支援が目的ではあるが、自主返納の促進を目的とすれば、返納時の特典と考

町長

え、クーポン券の支給などは考えられないか。返納者の交通手段の変換を目的にするものであり、クーポン券の支給は考えていない。

事務分掌に スポーツイベント 運営も

中村 スポーツまちづくり推進課（以下スポまち推進課）が設けられ、新年度より正式に活動を開始したので以下について質問する。

町長

学校体育以外のスポーツについての管理運営部分を生涯学習課から分離し、町長部局に設置したと理解しているが変更はないか。

中村

指摘通り新体制で業務を開始している。令和4年12月議会での条例改正の際の説明通り町長部局へ移管することにより、スポーツ振興とおした町づくり「Well-being（ウェルビーイング）なまちづくり」に繋げたい。

中村

スポーツイベントの運営に関する項目を事務分掌に明記すべきではないか。

町長 確かにスポまち推進課の所掌事務には明記していないが、スポーツを活用したまちづくり施策や企画運営といった事務分掌により、イベント運営についても積極的に取り組んで行く。

中村

既に行われた金ケ瀬公民館主催のゲートボール大会に於いては、館長自らが司会進行をしていたが、今後は、徐々に移行されていくのか。

町長

町が主催してきたいイベントに関しては、既に移行している。ただ、各地区毎の伝統的なイベントに関しては、現状移行していないが、今後もしやらないという考えではない。

中村

スポーツ少年団の活動について、も同じ考えでよいのか。スポまち体育協会に推進課長するイベントについても担当していく。

一般質問

交流・賑わい拠点施設

町民に知らせ声を聴くべき

情報発信や意見聴取に努める



万波 孝子



白石川右岸河川敷等整備事業は、総事業費約17億円とも言われ多額の税金を投入する町独自の一大事業である。すでに河川敷側に整備され利用されているマウンテンバイクやドックラン等、まもなくパークゴルフ場がスタートする。これから田んぼ側に賑わい交流拠点施設整備（道路含む5・5ヘクタール）される。いかに町民に親しまれ、利用される施設にしていくか、判断は町民に委ねられている。

万波 今後、田んぼ側に整備されるバスケットボール、フットサル、スケボー等の町内スポーツ愛好者数は。

町長 全国の愛好者数はわかるが、町内は残念ながら把握していない。

万波 5・5ヘクタールの平面図を基に現地での説明会や町

民に広く知らせ声を聴く場を保証していくべきではないか。

町長 広報紙等を活用し情報発信や意見聴取に努める。

万波 町民検討委員会を設置すべき。

町長 民間活力の手法を想定しているのと考えていない。

児童センター付近、交通安全対策を急げ

万波 放課後児童クラブ8施設の職員

のうち非正規は何名か。

町長 30名のうち非正規は21名。

万波 専門性、継続性が求められており、この状況は異常でないか。女性に集中も問題。正職に切り替える等の改善を求める。

副町長 会計年度職員を正職員に切り替える場合は採用試験を受けてもらうことになっている。また、会計年度職員も年1回昇給がある。



ヘルメット着用で頭部を守れ

佐藤 令和5年4月からヘルメット着用が努力義務化された。ヘルメットを購入する際に町民に助成する考えはあるか。

町長 居住する小中学校の児童・生徒を対象とした補助制度を検討する。

佐藤 大人にも改めて交通ルールを周知してはどうか。

町長 おしらせばん、ホームページ、ライン等を活用し周知徹底する。

子育て支援

佐藤 子育て支援の拠点となる複合施設。建設の進捗状況を伺う。

町長 場所、機能、様々な面から検討を重ねている。

佐藤 建設の際、障がい者や子育て世代、高齢者の「生の声」を聴く機会を設ける考えはあるか。

町長 車いすでの執務、ローカウター設置など利便性の高い施設を検討。意見聴取は必要性を考慮し検討する。

佐藤 役場のスロープ。役場は、町民の意見を取り入れ県の基準を満たした。工事の際には町民の参画が必要ではないか。

町長 役場として耳を傾けるのは当然と受け止める。

佐藤 放課後児童健全育成事業では、一年生は希望した場所に入れたのか。

万波 児童センター職員の駐車場は改善が必要でないか。

町長 新たな駐車場の検討を含め適切な確保に努力する。

万波 児童センター周辺にはガードレールを設置してきたが、迎える時間帯は今なお危険な状態。改善策を。

町長 現場を確認し改善に努める。

万波 土曜日保育の開所時間を少し早めてほしい声があるが。

町長 各クラブの職員が交代で勤務しているの十分な検討が必要と考えている。

町営住宅、家賃減免等の周知の徹底を

町営住宅は低所得者層を対象に建てられた住宅である。相次ぐ物価高騰などで生活を苦しめている。

万波 収入減等による家賃減免状況は。

町長 定員を超え、いきいきプラザと調整を図った。

佐藤 夏休みの学童保育で食事を提供できないか。

町長 職員確保、食事量の調整などを考慮すると難しい。

佐藤 複合施設に放課後児童健全育成授業の施設を併設するべきではないか。

町長 多様なサービス提供が行えるよう、十分に検討する。

スポーツ推進

佐藤 リガール仙台のサブホームタウンに名乗りを上げてはどうか。

町長 本町においても同様の取り組みができるのではと提案を頂いた。

佐藤 リガール仙台を含め、プロスポーツ選手を招きイベントや教室を開催する考えはあるか。例えばバレエ教室など。

町長 令和2年度から4年度まで8件申請あり。うち7件減免。

万波 全入居者に減免制度のチラシを配布し丁寧に周知を。

地域整備 今後は、丁寧な説明に努める。

万波 風呂一式は入居者が準備するが補助すべきではないか。

町長 解決策がないか検討する。



令和3年度基本計画時の計画平面図

町長 町民が関心を持ちつきつかけづくりや競技人口の増加に繋がる。どう連携していけば整理し検討する。

佐藤 コロナ禍で子ども達の自己肯定感が薄れているという声を聴く。楽しい体験からやりたいことが見つければ自己肯定に繋がると考える。町長はこの体験に関してどう考えるか。

町長 たいへん大切な指摘だ。子ども達がワクワクドキドキする。そういったところに繋がるところからスタートする。スポーツを活用した町づくりとは、最終的には人づくりでなければならぬ。全くその通りだ。

佐藤 近年ビーチバレーはアクセスのよい場所で行われる。白石川右岸にコートを整備する考えはないか。

町長 必要性や需要等を考慮し慎重に考える。

購入に助成を

小中学生を対象に検討

自転車用ヘルメット



佐藤 暁史

一般質問

物価高騰

全町民を対象に支援を

町独自の支援も検討する



丸山 勝利

世界経済の混乱で生活物資や食料、電気、ガス、燃料の高騰により町民の生活は厳しさを増している。町民、企業支援について以下伺う。

丸山 物価高騰に対し、町民生活や事業活動を支援するためとし、6月から8月までの検針分の水道料金の基本料金とメーター使用料を減免するが、状況によっては延長や一部減免など考えてはい

ないのか。
町長 現段階では検討していないが、今後も物価高騰など続く場合は検討し対応する。

丸山 千葉県では子育て世帯への県独自の支援として小学1年生から中学3年生まで、また、高等学校等新入学生臨時給付金として高校1年生を対象にそれぞれ1人一律1万円が支給されるようだが、本町においては

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の支給があるが、子供を持つ親全世帯に対しての支援として、町独自の支援策はないのか。
町長 子育て世代への支援として様々な支援を行ってきた。現段階では考えていないが、今後必要とする子育て支援を推進する。

丸山 物価高騰の波が収まる気配がない、生活物資のあらゆるものが値上がりし、また、東北電力では6月1日より電気料金を平均で25・47%値上げすると発表している。しかしながら給料などの賃上げは見込めない状況にある。住民税均等割非課税世帯に対するエネルギー・食料品等物価高騰対策支援給付金はあるが、全世帯を対象にした物価高騰に対する支援はできないか。

本町に求められる対応策について時期を逃さず進める。コロナ禍において中小企業者支援金などの中小企業支援を行ってきたが今なお燃料費や物価高騰が収まらず価格転嫁もままならない状況にある。今後さらなる支援はできないか。

【免除例】一般家庭の場合(口径13mm 1か月あたり18㎡使用した場合)				
基本料金 10㎡まで 1,650円	+	メーター使用料金 198円	+	超過料金 8㎡×253円 = 2,024円
= 3,872円				
↓ 基本料金免除				
基本料金 10㎡まで 0円	+	メーター使用料金 0円	+	超過料金 8㎡×253円 = 2,024円
= 2,024円				



更なる支援を

町長 中小企業・小規模事業者の早期再起を図るためにも、迅速かつ適切な支援について検討する。
丸山 現状は町民にとって物価高騰、燃料や電気料などの値上がりは許容範囲内と考えるか、それとも経済的に緊急事態と考えるか。非常事態ならば町独自の支援を早急に考えてはどうか。
町長 町独自の支援も検討する。

学力向上に効果が高い

読書と学力の関係は

学習環境



手の届く身近に本のある環境づくりを

大沼 読書と学力の相関関係の本町での考え方は。

教育長 研究結果や学力・学習状況調査の分析から読書は学力向上に効果が高いと考えられている。

大沼 学校の図書利用状況は。

教育長 令和4年度の町内小学生一人あたりの平均貸出冊数は62・1冊。全国平均を上回る状況。中学生は8・7冊で全国平均並み。読書環境をより整

え、読書に親しむ児童生徒の増加を図ってきたい。

大沼 朝読書の状況は。

教育長 すべての学校で、通年で行っている。読書に親しむきっかけを作り、読書量の増加につなげたい。

大沼 東京の学校家庭でロープ固定釘が飛び出し、大けがを負う事例があったが、本町の点検状況は。

教育長 県からも安全確認の要請があり、各学校へ確認依頼し、危険物(固定くぎ)を撤去した。現在は各学校で毎月1回安全点検をしている。

環境意識の醸成

大沼 フリマアプリのメルカリと連携して、回収した粗大ごみの中でもまだ使用できる家具やレジャー用品等を販売することで、ごみの減量化や処理費用の圧縮に努めながら環境意識の啓発を図る取り組み事例が増えている。連携してみてはどうか。

町長 粗大ごみは町が直接回収しないため連携は考えていない。

大沼 割れた食器類や乾電池などを専門に持ち込みできるステーションを設けてみては。

町長 増設することによりさらに収集時間もかかることから考えていない。

大沼 卸売市場にリサイクルステーションを新設してみてもいい。

副町長 今後の検討としてみる。

桜まつり

大沼 社会実証で試した広域Wi-FiとAIカメラの検証結果は。

町長 Wi-Fi6による無料提供を行った。快適なネット環境を提供できた。1日平均で100台の接続があり、アップロードが圧倒的に多く、会場を訪れた方が盛んにSNS等に投稿したものと推測され、情報発信に有効であったと考える。AI解析は簡易的な解析だが会場内の状態把握ができることが確認された。これらの設備の必要性を検討してみたい。

大沼 桜町方面からも違法迷惑駐車の実態を聞いた、警察との協議や対策は。

町長 実態や反省をもとに案内表示や巡回の強化等、警察、関係団体と協議していきたい。

[6月会議] 件 名	議決 月 日	議決 結 果	議 員 別 表 決 結 果 一 覧															
			佐藤 曉史	中村 淳	大沼 常次	高橋 豊	佐久間 克明	須藤 慎	高橋 芳男	丸山 勝利	佐藤 貴久	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖	大沼 忠弘	岡崎 隆	
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正について（議案第35号）	6/8	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護保険料の減免に関する条例の一部改正について（議案第36号）	6/8	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
令和5年度大河原町一般会計補正予算（第3号）（議案第37号）	6/8	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
令和5年度大河原町公共下水道事業会計補正予算（第1号）（議案第38号）	6/8	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
工事請負契約の締結について（大河原町立大河原中学校校舎裏屋外環境整備工事）（議案第39号）	6/8	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
令和5年度大河原町一般会計補正予算（第4号）（議案第40号）	6/8	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
岡崎隆議員の資格決定について	6/8	議員の資格を有すると決定	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	議	除	

《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席（欠席・遅刻・早退・退席）投：無記名投票（人事案件など）

議決責任の明確化

令和4年度政務活動費支出状況

[単位:円]

会 派 名	議 員 名	支出総額	収 入		返還額
			町からの交付額	会派負担額	
「がわら」の会	高橋 豊 山崎 剛 丸山 勝利 須藤 慎 佐久間 克明 佐藤 暁史	340,210	240,000	100,210	120,000
巖 会	秋山 昇 佐藤 巖 岡崎 隆	285,480	180,000	105,480	0
一 心 会	大沼 忠弘 佐藤 貴久	137,943	120,000	17,943	0
日 本 共 産 党	万波 孝子	81,890	60,000	21,890	0
公 明 会	高橋 芳男	68,972	60,000	8,972	0
フォーラム333	大沼 常次	145,261	60,000	85,261	0
新 政 会	中村 淳	68,972	60,000	8,972	0
合 計		1,128,728	900,000	348,728	120,000

《政務活動費支出の内訳》

調査研究費（視察等研修費用）／広報広聴費（新聞等の発行費用）

《調査視察研修の主な内容》

「がわら」の会	熊本県熊本市	「防災・減災について」
	鹿児島県南九州市	「知覧特攻平和館について」
巖 会	長崎県長崎市	「長崎市中央卸売市場について」
	長崎県大村市	「大村市の地産地消・第6次産業について」
一心会／公明会／新政会	佐賀県吉野ヶ里町	「小水力発電について」
	福岡県福岡市	「体育館の民間業者による指定管理状況について」
	宮城県川崎町	「ミニ水力発電所について」

政務活動費

このように使われました
政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5000円を会派に交付しています。

令和5年度各会計に 追加補正予算計上

可決

6月
会議

物価高騰・コロナ感染対策で、子育て、水道料金、他支援
パークゴルフ場施設整備、駅自由通路、学校施設に着手

歳入歳出それぞれ6億3740万円増額	一般会計補正予算
増額の主なものは、工事請負費で各種改修、及び修繕工事となっている。教育費では小中学校費において、各種教科用備品購入、普通教室LED化工事。給食賄材料費は見込み以上の食材値上がりから追加。	パークゴルフ場（工事請負費・備品購入費） 938万円 駅自由通路壁面修繕工事 1500万円 駅自由通路トイレ手洗い自動水栓化等改修工事 70万円 給食賄材料費 568万3000円 文化財保護補助金 250万円 地震により被災した登録有形文化財の佐藤屋住宅の補修工事に国県補助が決定され、本町においても補助する。総事業費20350千円の見込み。 交通安全対策費 425万3000円 児童自転車用ヘルメット購入補助金として、児童2000人に対して2千円の補助。



行政報告

6月3日午前9時頃 建物火災が発生

令和5年の火災発生件数は6件となっている。

4月
会議

24日開会の議会では、議会常任委員、議会運営委員の選任。同意1件、報告3件、議案3件が上程された。

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億5791万円増額

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金
1773万5000円

令和4年度「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の低所得の子育て支援分）」を受給した方。18歳未満を養育する父母で住民税非課税相当の収入となつた方。

対象児童を300人と見込み5万円支給。

エネルギー・食料品等物価高騰対策支援給付金
6000万円

住民税非課税世帯2000世帯を見込み、1世帯当たり3万円を支給する。

委員会活動

常任委員会の所管事務調査は、議案や予算として挙げられた大河原町の施策として町民の関心度の高い内容について実態を調査・分析し、問題点に対する改善策と対応策を導き議会に報告するものです。

総務産業常任委員会

調査日 5月8日

調査事項 河川敷の芝生の植栽について

(1) おがわら千本桜スポーツパーク芝生化事業について

白石川右岸河川敷については、大河原町が河川敷全体を占用しており、宮城県とのコラボ事業により造成工事を進め、将来的に河川敷を一体的な自然広場のような形で活用を予定している。なお、芝生化事業については、宮城県からの補助金である「みやぎ環境交付金」を利用し、事業を進めている。



- (2) パークゴルフ場について
 - ① 名称 おがわら千本桜スポーツパーク パークゴルフ場 (ネーミングライツ公募予定)
 - ② 整備費 1億3949万4300円 (内助成金3840万円)
 - ③ 敷地面積 2万7205㎡
 - ④ コース面積 2万3403㎡ (OB杭内23250㎡)
- 委員会所見
 - 芝生の種子吹付工の発芽率が40%から60%なので工事業者と協力して整備をする
 - 防災と防犯の観点で定点カメラを設置すべき
 - 万が一の時のためにAEDを設置すべき
 - パークゴルフ協会大河原支部の会員数が80名ほどであるがPRして町民みんなで楽しめる施設にしてほしい。

議会広聴常任委員会

開催日時 令和5年7月7日

開催場所 大河原町中央公民館 まちづくりルーム
要請団体 公正で公平なまちづくりを考える会 10名
議会出席者 大河原町議会広聴常任委員会 議長

大河原町議会2回目となる「議員の出前懇談会」が町民グループから要請を受けて開催されました。今回は「白石川右岸河川敷等整備事業」について広聴常任委員会委員が説明、それを受けて参加者の皆様から本事業に対する質疑及び意見交換を行いました。昨年に続き開催されたことは、「開かれた議会」への大きな一歩であり、「議員の出前懇談会」は町民の皆様の声を直接聞くことのできる貴重な機会でありま



す。今後も継続して議員と町民の皆様との懇談の場づくりに努め、皆様の声を議会で発信していくことで大河原町のまちづくりに反映させて参ります。

「議員の出前懇談会」とは、住民のより身近なものとして、開かれた議会を促進するため、町民グループや地域の要望等により、議員が直接向き、議会運営、まちづくりの課題等について話し合い、住民の意見を議会に反映させることを目的として開催するもの。

議会広報常任委員会

- 第1回6月8日 議会だより「第168号」の企画・編集について
- 第2回6月22日 議会だより「第168号」提出原稿の検討について
- 第3回7月6日 議会だより「第168号」初校の検討について
- 第4回7月14日 議会だより「第168号」原稿の校正について

議会広報常任委員会は議会の情報発信、広報を行っています。議会だより作成も広報活動の一環で、定例会終了後に編集作業をしております。

文教厚生常任委員会

調査日 5月8日

調査事項 大河原中学校に係る屋外環境整備状況について

- (1) 令和4年度校舎前環境整備工事
 - ① 校舎南面駐車場及び通路の造成工事 駐車台数は62台分(障がい者用区分1台)
 - ② 工期 6月10日～11月25日
 - ③ 工事請負者 八重樫工務店
 - ④ 請負代金 5377万9千円
 - ⑤ 駐輪場については校舎裏の環境整備工事後了後着手



- (2) 令和5年度工事
 - 校舎裏屋外環境整備工事
 - ① 駐輪場整備は来年度予算要求し順次設置予定
 - ② 校舎裏に4面テニスコートを設置



- 委員会所見
 - 校舎裏にある現行の駐輪場は撤去するが何かに活用できないか。
 - テニスコートは12月整備完了予定だが引退した3年生にも使わせたい。
 - 学校開放を見据えてナイター設備を考えてはどうか。
 - テニスコート及び付帯設備整備については今年中に完了の為、素晴らしい設備になることを願う。
- ③ その他付帯設備
 - 街灯10基、屋外給水栓、雨水側溝等
- ④ 工期は6月から12月15日(予定)

全員協議会

令和5年6月1日

説明・報告事項

第6次大河原町長期総合計画実施計画 (政策企画課)



鷺沼排水区3号雨水調整池計画 (上下水道課)

柴田町共同事業及び大河原町事業について位置図や浸水対策略図による説明があった。

令和5年6月1日 説明・報告事項

指定管理者に係る指定期間全体評価及び次期選定の基本方針

第一回指定管理者候補者選定委員会の開催結果について
大河原町総合体育館施設に係る指定期間全体評価を行い、次年度以降の指定管理者選定の基本方針を決定したと報告があった。

◆指定期間全体評価は「適正」だが、自主事業の実績、住民ニーズを把握した事業の見直しなど改善する余地があり、不祥事に対する法人健全化は進んでいるが、非公募による継続選定とする理由に至っておらず公募とした。

令和5年7月5日
富山県黒部市議会
総務文教委員会が来庁
●学力向上の取組みについて

令和5年7月5日
長野県安曇野市議会
総務建設委員会が来庁
●「OGAWARA MTB S-PARK」について

●「千本桜スポーツパークを活用したWell-being(ウェルビーイング)なまちづくりプロジェクト」について



インタビュー

町民の声

子育てや町に望むことを
お聞きしました。

＊プロフィール＊

だかはし よし え
高橋 由恵さん（上町2区）
白石市出身
【家族】夫、子ども2人

大型商業施設を誘致して
さらに魅力的で便利なまちに

大河原町は土地も平坦で移動が楽なのが特徴です。立地的にとっても恵まれています。その立地を生かし大型商業施設を誘致してください。そこに有名なカフェや大人気のハンパング店があれば、大河原町は飛躍的に発展すると思います。そんな拠点となるような大型商業施設があれば、そこに人も集まり住む人

大型商業施設を
誘致してほしい

も増えると思います。
シャトルバスの運行
大河原町はコンパクトシティですが、駅までのバスの本数が少ないです。いくらコンパクトだと言っても、やはり地方にある町です。主要な移動手段は車になります。自転車でも駅まで通うのが厳しい行政区もあります。そこで駅までのシャトルバスを運行してはどうでしょう。さらに利便性が向上して住みやすくなると思います。そのシャトルバスを大型商業施設とも繋げられれば、買い物も更に便利になります。若い世帯の定住促進を大河原町に家を建てたい若い世帯は多いです。しかし、とにかく土地が少なく金額が高いです。子育て真っ盛りの若い世帯は購入をためらってしまします。実際に私たちも半年以上も土地探しをしていました。そこで町が空き家を買取りリノベーションして、大河原町に住

子育てについて
大河原町は治安が非常に良い町です。朝の

見守り隊、交通指導隊の皆さんには本当に感謝しています。もし可能であれば夕方の見守りも強化してください。また小さい子どもがいる世帯にとっては、認定こども園があると助かります。子育てをしていると様々な不安が頭をよぎります。その最たるものが教育費です。できれば高校までの教育無償化を実現してください。



追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の過程について調査・追跡しました。

庁舎駐車場

誘導表示を

NPO法人

公募での契約を



これでもまだ「一方通行」がわかりづらい。



提言

公共施設内駐車場の誘導線（矢印）を引き直すようたびたび提言がなされてきた。特に役場庁舎駐車場内は、逆走車両も多く危険なことから、誘導白線の引き直しのほか案内表示板の設置も求めている。

提言

NPO 法人大河原町スポーツ振興アカデミーにおいて不正が発覚した。またその後の町との対応に疑問が残ることから、今後は随意契約ではなく、指定管理者選定に関して公募を求める。

議員の提言
（一般質問）
令和2年度～
令和3年度

令和5年
7月現在

議員の提言
（一般質問）
令和4年9月
令和4年6月
予算・決算審査特別委員会

令和5年
6月現在

追跡結果

- 令和4年3月に役場庁舎駐車場内の誘導白線が引き直された。
- 逆走防止の案内表示板については、張り紙での対応がなされているが、まだ認知度が低いため、今後も提言を継続する。



追跡結果

- 令和5年5月23日、町で設置する指定管理者候補者選定委員会の第1回開催結果において
- 所管課の一次評価、選定委員による二次評価を行い令和6年度から3年間の指定管理者選定の基本方針は「公募」とした。
- 指定期間全体評価は「適正」としたが、自主事業の実績、住民ニーズを把握した事業見直し等の改善点がある。不祥事に対する健全化が進んでいるものの、非公募とする合理的な理由に至らない。

こんな町に住みたい



大河原中学校3年
たかはし 遼真さん

私の故郷である大河原町は、田園都市であり教育面や観光面でも栄えている町です。ですが商店街などの利用者が減少しているのも現状です。確かに大河原町は都市への移動が容易なのも魅力ではありますが、大河原町は蔵王山の自然の景観や梅や米などの特産物に恵まれており、地域として他所に誇れる魅力があります。私はこの町のそんな良さを生かし、いつまでも多くの人々から愛されるような活気のある町に住みたいのです。



大河原中学校3年
よしだ みらいさん

大河原町の良いところは地域交流です。例えば、登校中、地域の方々に「おはようございます」とほとんどの生徒が挨拶をしています。

また、地域の方々と防災について真剣に考える機会が多くあり、どこが危険箇所なのか教えていただき、普段から災害について注意ができています。私は今後も「挨拶が飛び交う、笑顔が多くある町」に住み続けたいです。年々、降水量が多くなり、白石川が氾濫してしまうかもしれません。そんなときこそ、つながりを意識し、避難所の設立などで協力できる町にしたいです。

街かどワシヨット



ご当地の名物や観光名所をモチーフに描かれているマンホール蓋を下水道広報プラットホーム（GKP）が企画・監修し、コレクションにしたのがマンホールカードです。

大河原町にもカラーマンホールは存在し、上下水道課に行けば、マンホールカードが1枚もらえます。コレクションのきっかけにしてみてもいいでしょう。

今回の表紙は



大河原小学校の給食風景です。私が小学生時代は机を合わせてワイワイ楽しく食べていたものです。しかしながら新型コロナウイルス感染症の拡大により長らく楽しい給食ができない状況であります。新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に引き下げられたとはいえ、まだまだ制限のある給食になっております。今の小学生にも友達と一緒に楽しい給食を味わってもらいたいです。

（丸山 勝利）

9月議会のお知らせ

議会を傍聴しませんか

招集日 9月1日（金）・再開日 9月7日（木）

お問い合わせは議会事務局まで

☎53-2800

編集後記

新型コロナウイルス感染症も第5類になり、マスクをしなくて良い生活にも慣れ始めました。人と人との交流も活発になってきており、一つの区切りだと感じております。

私たち広報委員会も任期2年で区切りとなります。新たなメンバーでの任期がスタートし、新鮮な気持ちで編集に取り組みさせていただきます。

議会の内容をより分かりやすくお伝えし、町民の皆様が読みたくなるような議会だよりを目指していきたいと思っております。そのためには他の自治体にも赴き、積極的に勉強して参る所存です。

（佐藤 暁史）

編集発行責任者

議長 岡崎 隆

議会広報常任委員

委員長 佐藤 暁史
副委員長 佐久間 克明
委員 中村 淳
委員 高橋 豊
委員 須藤 慎
委員 丸山 勝利